火災につながる恐れがあります！

電池は「指定袋」に入れないで

近年、急速に普及しているリチウムイオン電池などが家庭ごみやプラスチック資源の指定袋に混入し、収集運搬や処理の際に発火する事故が発生しています。リチウムイオン電池は充電して使う製品に広く使用されていますが、熱や衝撃に弱いため、誤った排出方法により火災の原因になることがあります。

市では、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの小型充電式電池を、週１回の「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の収集日に回収しています。キャッチフレーズは「イエローに入レヨー！」。小型充電式電池の取り外しが難しい製品（ハンディーファンなど）は、電池を取り外さず、そのまま集積所に設置されている黄色の回収箱に出すことができます。

事故の未然防止のため、適正な分別・排出にご協力をお願いします。

間違った捨て方をすると**こんな危険**が…

- **ごみ収集車の中で発火、火災発生**
- **収集作業員や施設職員のけが**
- **ごみ処理施設の稼働停止**

⇒ごみ収集への影響やごみ処理費用の増加

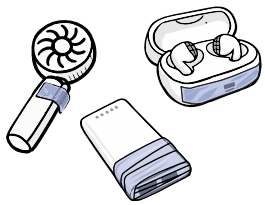
◀家庭ごみ指定袋に混入していた小型充電式電池が原因とみられる発火によって一部が焼けたごみ収集車

リチウムイオン電池が使用されている製品の例

モバイルバッテリー　スマートフォン　ワイヤレスイヤホン　電子たばこ　ハンディーファン

正しい捨て方 3 ステップ

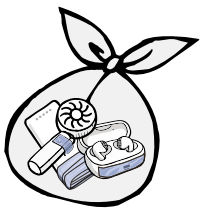
1　絶縁する



電極や充電端子などの金属部分に透明なテープを貼る

▶

2　袋に入れる



中身が見える透明な袋に入れてしっかり口を結ぶ

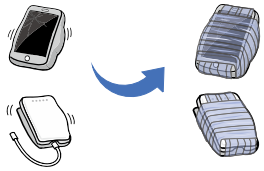
▶

3　黄色の回収箱へ

「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の収集日に出す

※30センチメートルを超えるものは粗大ごみへ

※バッテリーが膨張している場合は透明なテープを製品全体に巻き絶縁



捨て方を覚えて仙台89ERS（エイティナイナーズ）を黄援（おうえん）に行こう！

リチウムイオン電池クイズキャンペーン

リチウムイオン電池の正しい捨て方に関するクイズに答えて応募すると、抽選で仙台89ERSの観戦チケットなどが当たるキャンペーンを実施します。

●期間＝11 月 1 日㈯～11 月30 日㈪　●対象＝市内にお住まいの方　●応募方法など詳しくはワケルネット（https://www.gomi100.com/）をご覧ください

この特集に関するお問い合わせは、家庭ごみ減量課☎214･8229、FAX214･8277